旭川医科大学病院は

がん診療連携拠点病院として

がんに対する治療を積極的に行っています。

がんの治療中や療養中には

様々な苦痛が生じます。

近年、これらの苦痛を緩和する医療が

がんの治療と並行して

提供されるようになってきています。

当院では「緩和ケアチーム」が

主治医や病棟のスタッフと連携して

患者さん・ご家族の苦痛を緩和して

治療や療養のサポートを行っています。

旭川医科大学病院
緩和ケアチーム

〒078-8510
旭川市緑が丘東2条1丁目1番1号
電 話:0166-69-3880(緩和ケア外来)
0166-69-3220(緩和ケア診療部)
FAX:0166-69-3229(緩和ケア診療部)
http://www.asahikawa-med.ac.jp/

緩和ケアチーム ご案内

Palliative Care Team Information

旭川医科大学病院
緩和ケアチーム

お困りではありませんか?

緩和ケアチームでは、主にがん患者さん・ご家族の以下のような相談に対応しています。

- ☑ 痛みがつらい
- ☑ 息苦しさがある
- ☑ 吐き気がある
- ☑ 夜眠れない
- ☑ 不安やいらいらがある
- ☑ 気分が落ち込んで何もする気にならない
- ☑ 麻薬の痛み止めは本当に飲んで大丈夫?
- ☑ 退院して自宅で過ごしたいが方法がわからない
- ☑ 自分らしく穏やかな生活を送りたい
- ☑ 本人とどう接していいのかわからない(ご家族)
- ☑ 家族を失ってつらい(ご遺族)

緩和ケアってなに?

緩和ケアは、体のつらさ、気持ちのつらさ、生活上のつらさを抱えた患者さんとご家族を、総合的に支えていく医療のことを言います。緩和ケアはその人の「つらさ」に目を向けて行われます。がんと診断されたときから、いつでも受けることができます。

緩和ケアチームの活動

緩和ケアチームでは、専門の医師や歯科医師、看護師、薬剤師、理学療法士、医療ソーシャルワーカーがチームとなって、**痛みへの専門的な対処**や、**気持ちのつらさを和らげる治療やケア**を行っています。入院中はチームスタッフが定期的に病室へ訪問します。また通院中は緩和ケア外来で治療やケアを続けていきます。病棟が移ったり、これまでの主治医やスタッフとの関係が変わることはありません。**現在の治療や生活が上手くいくようにお手伝いしていく医療チームです。**

緩和ケアを受けるには

当院に通院や入院している**がんの患者さん**であれば、その時のがんの治療の有無に関わらず緩和ケアチームに相談することができます。はじめは**主治医の先生からの依頼**が必要となります。がんに関するつらさがある方、話を聞いてみたい方は、主治医もしくは担当の看護師にご相談ください。

緩和ケアチームのスタッフ

阿部　泰之 (医師:緩和ケア科)
間宮　敬子 (医師:麻酔科蘇生科)
岩崎　寛 (医師:麻酔科蘇生科)
田村　義之 (医師:精神科神経科)
小神　順也 (歯科医師:歯科口腔外科)
笹田　豊枝 (看護師:緩和ケア認定看護師)
小城 香織里 (薬剤師)
朝野　裕一 (理学療法士)
佐藤　雅子 (医療ソーシャルワーカー)